公 共 事 業 新 規 評 価 調 書（維 持 系）

本部・部名	交通政策部	課　名	道 路 課	事 業 名	社会資本整備総合交付金	舗装補修
種　別	道　路	事 業 区 分	維 持 管 理			

事業目的	舗装の経年劣化に伴う路面の凹凸やひび割れの発生により、走行性が悪化し、車両通行に支障を来している箇所に補修を施し、道路交通の安全性及び快適性の確保を図る。

定性評価		
	自然環境保全	自然環境にできるだけ影響を与えない工法を選定する。
	生活環境対策	排ガス対策型機械の使用、副産物処理の適正処理、再生材使用による資源の有効活用等を行う。
	コスト縮減策	経済性・施工性に優れた工法を検討し採用する。路盤材、アスファルト等は、再生材等の安価な材料を使用する。
	そ の 他	

【H25当初予算】

公共事業新規評価調書

| 事務所名 | 箇所番号 | 道路種別 | 路線名 | 事業地 | 事業費 全体額 | 事業費 要望額 | 公共単独の別 | 完成予定年度 | 事業概要 延長 | 事業概要 幅員・法長 | 事業概要 平積 | 事業概要 工法 | 評価視点：位置付け 評価指標：事前調査 わだち掘れにより、通行車両や通行人に障害が発生している箇所 | 舗装の劣化が激しい箇所 | カーブ区間及び交差点付近などの偏荷重のかかる箇所 | 大型車の通行が多い箇所 | 沿道が家屋連担地区であり、通行車両の騒音に配慮すべき箇所 | 通行規制区間 | 渋滞対策プログラムの渋滞箇所 | 交通事故多発箇所 | 点数計 | 評価視点：必要性・効果 評価指標：損傷の程度 ①MCI値 現状 | 点数 | ②事業（交通安全事業等）との関連により、舗装の補修が必要な箇所 | 計 | 評価指標：交通量 現況交通量（日当たり） | 点数 | 点数計 | 評価視点：実施環境 評価指標：公共施設、沿道状況等 沿道状況による評価 通学路の指定の有無及び今後の整備による追加指定の有無 | 半径1km以内の沿道施設状況による評価 教育施設（小・中学校・高校） | 市役所・役場・または公共施設 | 病院 | 集会場 | 福祉施設 | 駅・公園等 | 商店街 | バス路線 | 防災施設 | 施設数計 | 施設数による点数 | 迂回路の状況による評価 迂回路無し | 迂回距離が2km以上追加 | 迂回路有り | 迂回路による点数 | 点数小計 | 評価指標：道路の役割 主要幹線（A） | 主要幹線（B） | 幹線道路 | 補助幹線道路 | その他国県道 | 点数小計 | 評価指標：緊急輸送路・観光ルート 観光地と主要幹線道路を結ぶ道路 | 緊急輸送道路に位置付けられている道路 | 点数小計 | 点数計 | 評価 | 判断 Ⅰ優先的に事業を実施 Ⅱ事業を実施を見合わせる Ⅲ事業実施を見合わせる |
|---|---|---|---|---|---|---

公 共 事 業 新 規 評 価 調 書（維 持 系）

本部・部名	交通政策部	課　名	道 路 課	事 業 名	社会資本整備総合交付金	道路防災
種　別	道　路	事業区分	維持管理			

事業目的	落石や道路法面崩落の恐れがある箇所に対策工を施すことにより、危険箇所の解消を図り、災害の未然防止や道路交通の安心・安全を確保する。

定性評価	自然環境保全	自然環境にできるだけ影響を与えない工法を選定する。
	生活環境対策	排ガス対策型機械の使用、副産物処理の適正処理、再生材使用による資源の有効活用等を行う。
	コスト縮減策	経済性・施工性に優れた工法を検討し採用する。現場発生材の有効活用や再生材等の安価な材料を使用する。
	その他	

【H25当初予算】

公共事業新規評価調書

| 事務所名 | 箇所番号 | 道路種別 | 路線名 | 事業地 | | 事業費 全体額 | 事業費 要望額 | 公共単独の別 | 完成予定年度 | 事業概要 延長 | 事業概要 幅員・法長 | 事業概要 平積 | 事業概要 工法 | 評価視点：位置付け 評価指標：点検及びプログラム H8道路防災総点検要対策箇所 | 橋梁の25t荷重化プログラム該当橋梁 | 架設後30年を経過した橋梁 | 前回塗装後10年を経過した橋梁 | 緊急点検で対策が必要と判断された箇所 | 点数 | 通行規制区間 | 渋滞対策プログラムの渋滞箇所 | 交通事故多発箇所 | 点数 | 点数計 | 評価視点：必要性・効果 評価指標：損傷の程度 ①斜面の表面に浮石、転石の存在する箇所 | ②斜面に崩壊性の土質、岩質が存在する箇所 | ③既設対策工が老朽化し、効果が発揮されていない箇所 | ④斜面に岩盤が露出している箇所 | ⑤地滑り危険箇所に指定されているか、地滑り現象が認められる箇所 | ⑥軟弱地盤上に道路盛土がなされており、沈下等の変状が認められる箇所 | ⑦擁壁等の耐荷構造物の基礎部分の変状やクラック、すれ等の変状が認められる箇所 | ⑧波浪の影響を受ける箇所で、交通に著しく支障を及ぼす恐れのある箇所 | ⑨斜面表面の浮き石、転石小の落石等が発生し確認された箇所 | ⑩斜面が既に一部崩壊している、またはその恐れが認められる箇所 | ⑪地すべり現象が進行している箇所 | ⑫重要構造物（トンネル、橋梁）及びその周辺で道路施設の変状が認められる箇所 | 計 | 評価指標：交通量 現況交通量（日当たり） | 点数 | 点数計 | 評価視点：実施環境 評価指標：公共施設、沿道状況等 通学路の指定の有無及び今後の整備による追加指定の有無 | 教育施設（小・中学校・高校） | 市役所・役場・または公共施設 | 病院 | 集会場 | 福祉施設 | 駅・公園等 | 商店街 | バス路線 | 防災施設 | 施設数計 | 施設数による点数 | 迂回路の状況による評価 迂回路無し | 迂回距離が2km以上追加 | 迂回路有り | 迂回路による点数 | 点数小計 | 評価指標：道路の役割 主要幹線（A） | 主要幹線（B） | 幹線道路 | 補助幹線道路 | その他国県道 | 点数小計 | 評価指標：緊急輸送路・観光ルート 観光地と主要幹線道路を結ぶ道路 | 緊急輸送道路に位置付けられている道路 | 点数小計 | 点数計 | 評価 | 判断 Ⅰ優先的に事業を実施 Ⅱ事業を実施を見合わせる Ⅲ事業実施を見合わせる |
|---|---|---|---|---|---|---

様式３－２

公 共 事 業 新 規 評 価 調 書（維 持 系）

本部・部名	交通政策部	課　　名	道 路 課	事 業 名	社会資本整備総合交付金	長寿命化
種 別	道 路	事 業 区 分	維 持 管 理			

事業目的	橋梁の高齢化が加速度的に進むなかで、橋梁長寿命化修繕計画に基づき適切に補修及び補強を実施し、橋梁の長寿命化及び耐震化により道路網の信頼性の確保を図る。

定性評価	自然環境保全	自然環境にできるだけ影響を与えない工法を選択した。
	生活環境対策	排ガス対策機械の使用、建設副産物の適正処理、再生材の使用等を行う。
	コスト縮減策	より経済的な工法を検討し採用する。現場発生材の有効活用、再生材の使用等、より安価な材料を使用する。
	そ の 他	

事務所	箇所番号	路線名	橋梁名	事業地		全体額	完成予定年度	評価視点：位置付け									評価視点：必要性・効果									評価視点：実施環境																															評価	判断
								評価項目：点検計画			評価項目：特性				点数計		評価項目：安全性							評価項目：利活用度		点数計		評価項目：道路の機能																			評価項目：道路分類						評価項目：地域振興		点数計			Ⅰ優先的に事業を実施 Ⅱ事業を実施 Ⅲ事業実施を見合わせる
								評価指標：橋梁長寿命化修繕計画		評価指標：経過年数	評価指標：橋梁の種類						評価指標：損傷の程度							評価指標：交通量			評価指標：緊急輸送道路・通学路等																			評価指標：道路の役割						評価指標：観光ルート					
								橋梁長寿命化修繕計画に位置付けられている	点数小計	架設後50年を経過したコンクリート橋、又は架設後30年を経過した鋼橋	点数小計	特殊橋梁（トラス橋、アーチ橋、斜張橋等）	長大橋（橋長100m以上）	跨線橋、跨道橋等（第三者に影響を与える橋梁）	点数小計		点検の結果、主要な部材（床版、主構、基礎、支承）の健全度が60未満	点検の結果、主要な部材（床版、主構、基礎、支承）の健全度が60以上80未満	点検の結果、主要な部材（床版、主構、基礎、支承）の健全度が80以上	点検の結果、その他の部材（高欄、伸縮装置等）において、腐食、変形等により本来の機能を有していない	落橋防止装置の設置、又は橋脚の補強が必要である	点数小計	現況交通量（日当たり）【台】	点数小計		緊急輸送道路に位置付けられている道路	点数	迂回路の状況による評価			点数	通学路の指定の有無及び今後の整備による追加指定の有無	点数	半径1km以内の沿道状況による評価													点数	その他（住宅、耕作地等）※左記以外	点数	点数小計	主要幹線（A）	主要幹線（B）	幹線道路	補助幹線道路	その他国県道	点数小計	観光地と主要幹線道路を結ぶ道路	点数小計			
																											迂回路なし	迂回路あり					教育施設（小・中学校・高校）	市役所・役場・または公共施設	病院	集会場	福祉施設	駅・公園等	商店街	バス路線	防災施設	施設数計																				
						百万円			(60)		(20)	該当要件に○を記入			(20)	(100)	(60)	(50)	(0)	(60)	(50)	最大点		(40)	(100)	(60)	(60)	(60)	(40)	(30)	(60)	(60)	(60)	箇所数を記入												(60)	(20)	(20)	最大点	(30)	(20)	(20)	(20)	(10)	(30)	(10)	(10)	(100)		
佐賀	1	207号	牛津橋	小城市	牛津町	45	H25	60	60	20	20				0	80	60					60	14,871	40	100	60	60			30	30		0	1	2		3		2		1			60		0	60		20				20		0	80	A A A	I
佐賀	2	444号	久保田橋側道橋	佐賀市	久保田町	60	H26	60	60		0	○	○		20	80	60					60	18,842	40	100	60	60		40		40		0		1		1				1			60		0	60		20				20		0	80	A A A	I
神埼	3	佐賀八女線	柴尾橋	神埼市	千代田町	50	H25	60	60	20	20				0	80		50				50	5,659	30	80		0		40		40	60	60	1		1					1	1		60		0	60				20		20		0	80	A A A	I
唐津	4	伊万里畑川内厳木線	浪瀬大橋	唐津市	厳木町	25	H25	60	60		0				0	60		50		60		60	1,297	20	80		0		40		40	60	60				1				1	1		60		0	60				20		20		0	80	B A A	I
唐津	5	肥前呼子線	下村橋	玄海町	有浦下	15	H25	60	60	20	20				0	80	60					60	1,396	20	80		0	60			60	60	60	1	1	1	2	1			1			60		0	60				20		20		0	80	A A A	I
唐津	6	半田鬼塚線	久里橋	唐津市	養母田鬼塚	70	H26	60	60		0		○	○	20	80		50			50	60	9,432	30	90		0		40		40		0				2		1		1			60		0	60				20		20		0	80	A A A	I
唐津	7	藤川二丈線	地蔵橋	唐津市	七山白木	10	H25	60	60		0				0	60	60			60		60	757	20	80		0	60			60	60	60		1		1				1	1		60		0	60				20		20		0	80	B A A	I
唐津	8	肥前呼子線	有浦橋	玄海町	諸浦	20	H25	60	60		0				0	60	60					60	709	20	80		0	60			60	60	60	1	1	1	2	1			1	1		60		0	60				20		20		0	80	B A A	I
唐津	9	藤川二丈線	狩川橋	唐津市	七山白木	15	H25	60	60		0				0	60	60					60	757	20	80		0	60			60	60	60				1				1	1		60		0	60				20		20		0	80	B A A	I
鹿島	10	207号	百貫橋	鹿島市	井手	300	H27	60	60		0		○		20	80	60					60	24,746	40	100	60	60				0		0	1	1		1				1	1		60		0	60		20				20		0	80	A A A	I

本部・部名	交通政策部	課　　名	道　路　課	事　業　名	社会資本整備総合交付金	橋梁補修
種　　別	道　　路	事　業　区　分	維　持　管　理			

事業目的	橋梁定期点検で損傷が確認された橋梁について、適切な補修を実施し、橋梁の長寿命化及び道路網の信頼性の確保を図る。

定性評価	自然環境保全	自然環境にできるだけ影響を与えない工法を選択した。
	生活環境対策	排ガス対策機械の使用、建設副産物の適正処理、再生材の使用等を行う。
	コスト縮減策	より経済的な工法を検討し採用する。現場発生材の有効活用、再生材の使用等、より安価な材料を使用する。
	そ　の　他	

公共事業新規評価調書

| 事務所 | 箇所番号 | 路線名 | 橋梁名 | 事業地 | | 全体額 | 完成予定年度 | 評価視点:位置付け | | | | | | | | | 点数小計 | | | | | | | 点数計 | 評価視点:必要性・効果 | | | | | | | | |